

長野県火山防災のあり方検討会中間報告書（案）県民意見募集結果

項目（ページ等）	ご意見
第3編「（仮称）御嶽山 マイスターの活用」	<p>火山マイスター制度の創設に関しては、主に2点から賛成。</p> <ol style="list-style-type: none"> 火山マイスターが登山者や観光客に対して適切な情報発信を行うことにより、登山者や観光客の満足度が向上すると考えられるほか、防災面での効果が大いに期待できること。 火山マイスターが火山周辺地域の住民に対する啓発活動を行うことで、住民が地元にある火山についての知識を深め、より関心を寄せるようになると考えられること。 <p>火山マイスター制度の運用にあたり、地元への啓発活動の面で、次の2点を提案させていただきます。</p> <p>1. 専門機関との連携強化</p> <p>—火山マイスターが専門機関と住民との架け橋になること</p> <p>○ 4つの火山は、それぞれ研究施設が常時観測しているとのことですが、観測の状況などに関して、地元住民に報告・解説して頂くような機会があまりないと感じます。一方で、火山に関する研究者の人数はあまり多くはない状況にあるということも聞いていますので、研究者から直接報告して頂く機会を増やすのも難しいと思います。そこで、火山マイスターが研究者に代わって、火山の状況を住民に報告するというような機会を設けて頂くことが出来れば、住民も地元の火山に対してより関心を示すようになると思います。</p> <p>○ また、信州大学などで火山に関する講演会が随時開催されており、長野県の火山についてわかりやすく説明して頂いているのですが、参加者が少ないように感じます。この背景として、大学側の宣伝が大学のホームページやごく限られた場所に置かれているチラシなどにとどまっていることが多いのではないかと思います。そこで、火山マイスターが仲介して、講演会開催に関する記事の掲載を市町村の広報や地元の新聞社に働きかけ、広く住民に参加を呼び掛けて頂くというのも一案かと思います。</p> <p>2. 「火山検定」の実施や「火山サポーター」の併設</p> <p>○ 現在は、地元住民が身近にある火山について関心を持って学びたいと思っても、学べる場所や機会が乏しい状況だと感じます。そこで、住民が地元の火山をより身近なものとして捉え、関心を持って学ぶための一つ的手段として、「火山検定」（松本市の「松本検定」のようなもの）を、火山マイスターが中心となって企画するというのはいかがでしょうか。</p> <p>○ また、火山マイスターになる程の知識や能力はないが、地元の火山に関する防災など何か役立つことを実践したいと考える住民のために、火山マイスターの活動を支援しながら自らの知識や能力を身に着けていくという位置付けの「火山サポーター」制度を併設することもご検討頂ければと思います。</p> <p>—「火山サポーター」制度は「洞爺湖有珠火山マイスター制度」にもあるようです。</p>